

## (1) -2) 都市間バス

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<b>■道南バス</b> ・高速白鳥号 ・高速蘭東ライナー号 ・高速おんせん号 ・高速ハスカップ号 ・高速ペガサス号 ・高速はやぶさ号 ・高速登別温泉エアポート号 ・登別温泉・白老線 <b>■北海道中央バス</b> ・高速むろらん号 ・高速とまこまい号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の中核都市である札幌市や中核都市群である千歳市と本地域の中核都市群を含む各自治体間での広域的な通院やビジネス利用等で活用</li> <li>・中核都市である札幌市や中核都市群である千歳市と本地域の中核都市群である室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市を結ぶ幹線交通としての役割を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も本地域に居住する住民及び北海道胆振地域を来訪する方の重要な交通として、広域交通や生活圏交通が都市間バスとの接続性を確保することに加え、関係する市町等と道南バス株式会社及び北海道中央バス株式会社の協力を基に、都市間バスの利便性向上及び利用促進に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭市</li> <li>・苫小牧市</li> <li>・登別市</li> <li>・白老町</li> </ul>

## (2) 広域交通

### (2) -1) 鉄道

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<b>■JR 北海道</b> ・日高本線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3（2021）年4月1日に鵜川～様似間が廃線となり、代替バス路線が運行</li> <li>・本地域の中核都市群である苫小牧市と厚真町・むかわ町を結ぶ広域交通としての役割を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も本地域に居住する住民の重要な交通として、広域交通や生活圏交通が鉄道との接続性を確保することに加え、関係する市町等と北海道旅客鉄道株式会社（JR 北海道）の協力を基に、鉄道の利便性向上及び利用促進に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苫小牧市</li> <li>・厚真町</li> <li>・むかわ町</li> </ul>

(2) - 2) 路線バス-地域間幹線系統-西部地域

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<p>■道南バス ・室蘭・洞爺湖線① 【R4 輸送量：31.3 人】</p>	<p>・西部地域の室蘭市、伊達市、壮瞥町、洞爺湖町間における通勤や通学、買い物などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組み、移動手段の維持に努める。</p>	<p>・室蘭市 ・伊達市 ・壮瞥町 ・洞爺湖町</p>
<p>■道南バス ・室蘭・洞爺湖線② 【R4 輸送量：38.6 人】</p>	<p>・西部地域の室蘭市、伊達市、洞爺湖町間における通勤や通学、買い物などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>		<p>・室蘭市 ・伊達市 ・洞爺湖町</p>
<p>■道南バス ・室蘭・伊達線 【R4 輸送量：25.5 人】</p>	<p>・西部地域の室蘭市、伊達市間における通勤や通学などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>		<p>・室蘭市 ・伊達市</p>
<p>■道南バス ・有珠線① 【R4 輸送量：8.1 人】</p>	<p>・西部地域の伊達市、洞爺湖町間における通勤や通学などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組みつつ、伊達市、洞爺湖町が中心となり、道南バス株式会社との協議を重ね、利用実態・ニーズに応じた見直しなど持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</p>	<p>・伊達市 ・洞爺湖町</p>

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<p>■道南バス</p> <p>・胆振線</p> <p>【R4 輸送量：15.5 人】</p>	<p>・西部地域の伊達市、壮瞥町間における通学などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組みつつ、伊達市、壮瞥町が中心となり、道南バス株式会社との協議を重ね、利用実態・ニーズに応じた見直しなど持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</p>	<p>・伊達市</p> <p>・壮瞥町</p>
<p>■道南バス</p> <p>・洞爺湖温泉線</p> <p>【R4 輸送量：6.6 人】</p>	<p>・西部地域の壮瞥町、洞爺湖町間における通勤や私用などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p> <p>・一方で、西部地域の観光地である洞爺湖温泉までのアクセス交通であることから、観光目的でも一定程度利用されている。</p>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組みつつ、壮瞥町、洞爺湖町が中心となり、道南バス株式会社との協議を重ね、利用実態・ニーズに応じた見直しなど持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</p>	<p>・壮瞥町</p> <p>・洞爺湖町</p>
<p>■道南バス</p> <p>・豊浦線</p> <p>【R4 輸送量：8.0 人】</p>	<p>・西部地域の伊達市、豊浦町、洞爺湖町間における買い物や通勤、通院、私用などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組みつつ、伊達市、豊浦町、洞爺湖町が中心となり、道南バス株式会社との協議を重ね、路線形態も含め持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</p>	<p>・伊達市</p> <p>・豊浦町</p> <p>・洞爺湖町</p>

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<p>■道南バス</p> <p>・洞爺湖温泉線②</p> <p>【R4 輸送量：8.0 人】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部地域の壮瞥町、洞爺湖町間における通勤や通院などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</li> <li>・一方で、西部地域の観光地である洞爺湖温泉までのアクセス交通であることから、観光目的でも一定程度利用されている。</li> </ul>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組みつつ、壮瞥町、洞爺湖町が中心となり、道南バス株式会社との協議を重ね、利用実態・ニーズに応じた見直しなど持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壮瞥町</li> <li>・洞爺湖町</li> </ul>

(2) - 3) 路線バス-地域間幹線系統-中部地域

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<p>■道南バス</p> <p>・室蘭市内線②</p> <p>【R4 輸送量：41.0 人】</p>	<p>・中部地域の室蘭市と登別市間における通学や通勤などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組み、移動手段の維持に努める。</p>	<p>・室蘭市</p> <p>・登別市</p>
<p>■道南バス</p> <p>・登別・苫小牧線</p> <p>【R4 輸送量：31.8 人】</p>	<p>・中部地域の登別市、白老町、苫小牧市間における通勤や通院などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p> <p>・また、中部地域における観光地である登別温泉までのアクセス交通であることから、観光目的での利用も多く、来訪者の移動にも活用されている。</p>		<p>・苫小牧市</p> <p>・登別市</p> <p>・白老町</p>
<p>■道南バス</p> <p>・室蘭・登別温泉線</p> <p>【R4 輸送量：56.2 人】</p>	<p>・中部地域の室蘭市、登別市間における通勤や買い物などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p> <p>・また、中部地域における観光地である登別温泉までのアクセス交通であることから、観光目的での利用も多く、来訪者の移動にも活用されている。</p>		<p>・室蘭市</p> <p>・登別市</p>

(2) - 4) 路線バス-地域間幹線系統-東部地域

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<p>■道南バス</p> <p>・日高沿岸線①</p> <p>【R4 輸送量：33.6 人】</p>	<p>・東部地域及び日高管内の各市町間における買い物や通学、通院などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持改善事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と道南バス株式会社の協力の基、利用促進に取組みながら、持続可能な移動手段の維持に努める。</p>	<p>・苫小牧市</p> <p>・厚真町</p> <p>・むかわ町</p> <p>・他日高管内</p>
<p>■あつまバス</p> <p>・千歳線</p> <p>【R4 輸送量：15.3 人】</p>	<p>・東部地域の厚真町、安平町及び千歳市間における通勤などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持改善事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等とあつまバス株式会社の協力の基、利用促進に取組みながら、移動手段の維持に努める。</p>	<p>・厚真町</p> <p>・安平町</p> <p>・千歳市</p>
<p>■あつまバス</p> <p>・苫小牧線①</p> <p>【R4 輸送量：15.3 人】</p>	<p>・東部地域の苫小牧市、厚真町間における通勤及び通院などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>	<p>・地域公共交通確保維持改善事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等とあつまバス株式会社の協力の基、利用促進に取組みつつ、苫小牧市、厚真町、安平町が中心となり、あつまバス株式会社との協議を重ね、利用実態・ニーズに応じた見直しなど持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</p>	<p>・苫小牧市</p> <p>・厚真町</p>
<p>■あつまバス</p> <p>・苫小牧線②</p> <p>【R4 輸送量：15.3 人】</p>	<p>・東部地域の苫小牧市、厚真町、安平町間における通学及び通勤、通院などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>		<p>・苫小牧市</p> <p>・厚真町</p> <p>・安平町</p>
<p>■あつまバス</p> <p>・苫小牧線③</p> <p>【R4 輸送量：15.3 人】</p>	<p>・東部地域の苫小牧市、厚真町、安平町間における通院及び買い物、私用などの生活を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</p>		

(2) - 5) 路線バス-市町村単独補助路線

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<p>■道南バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 32 系統</li> </ul> <p>■あつまバス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 系統</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本地域の幹線交通や広域交通-地域間幹線系統では賄いきれない需要を支える路線バスとして広域交通の役割を担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 34 系統中、21 系統で令和 4（2022）年度の運行収支が赤字となっており、広域交通としての役割の確保に向けては、関係する市町と道南バス株式会社及びあつまバス株式会社が協力の上、利用促進に取り組みながら、持続可能な移動手段の確保のための最適化に向けた検討を行う。</li> <li>・ なお、系統の維持・確保に向けては、必要に応じて、北海道の生活交通路線維持対策事業（広域生活交通路線等）や地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域内フィーダー系統補助）の活用も検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 胆振地域の全市町</li> </ul>

### (3) 生活圏交通

#### (3) - 1) 路線バス-広域生活交通路線

路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<b>■道南バス</b> ・日新国道線2 【R4 輸送量：28.5 人】 ・錦岡線 【R4 輸送量：30.2 人】 ・勇払線1 【R4 輸送量：28.0 人】 ・勇払線2 【R4 輸送量：22.5 人】 ・沼ノ端線2 【R4 輸送量：17.6 人】 ・澄川錦岡線 【R4 輸送量：67.6 人】 ・川沿ときわ線 【R4 輸送量：54.7 人】 ・宮の森線 【R4 輸送量：38.7 人】	・全8系統は本地域の中核都市群の1つである苫小牧市内を運行しており、様々な利用目的の移動を支える路線バスとして生活圏交通の役割を担う。	・8系統中全系統で令和4(2022)年度の運行収支が赤字となっており、生活圏交通としての役割の確保に向けては、苫小牧市と道南バス株式会社が協力の上、利用促進に取り組みながら、持続可能な移動手段の確保のための最適化に向けた検討を行う。	・苫小牧市

#### (3) - 2) 路線バス-市町村生活バス路線

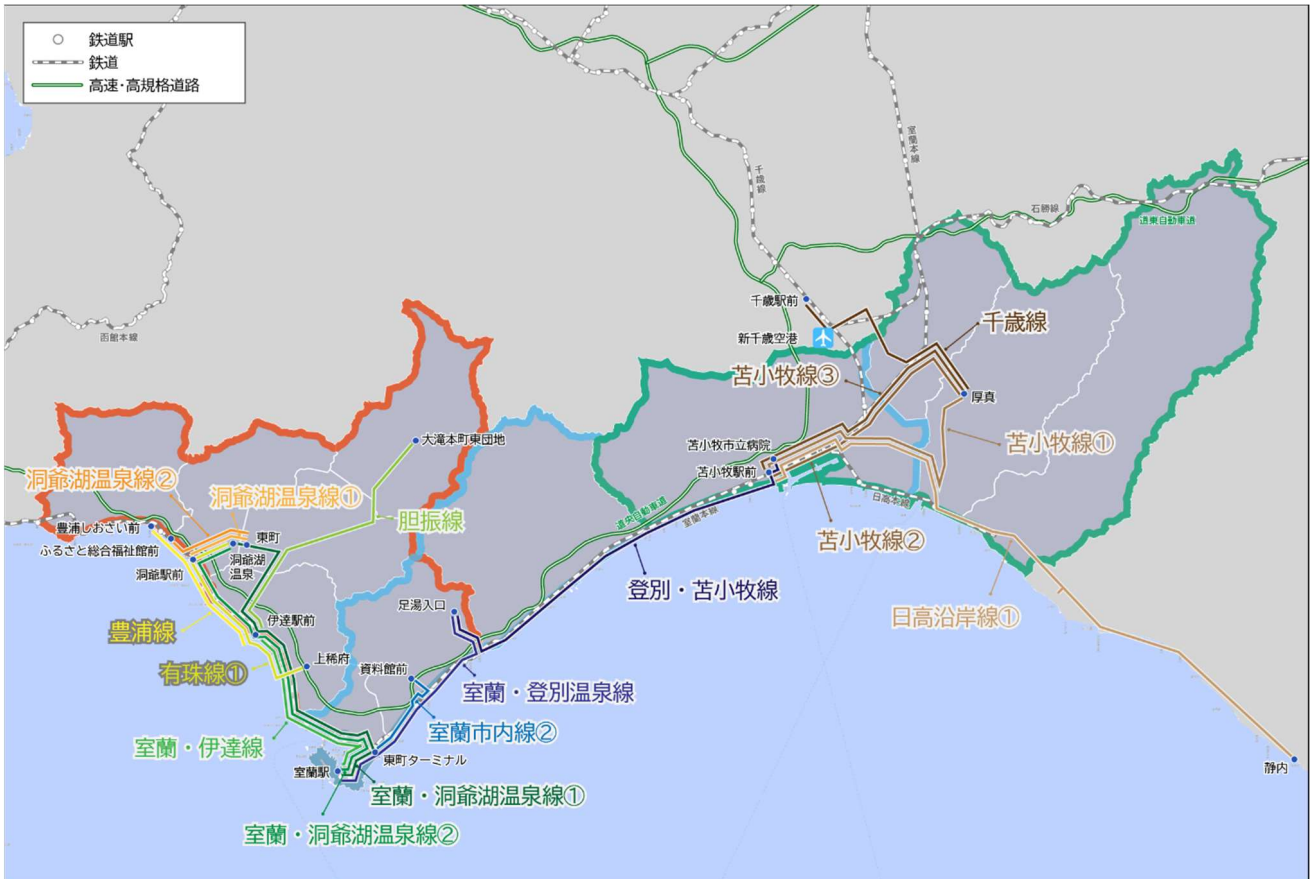
路線名	役割	維持・確保の方針	主に係る市町
<b>■豊浦町</b> ・1系統	・西部地域に属する豊浦町内の農村部を中心に運行をしており、農村部に居住する自家用車などを利用することができない住民にとって欠かすことのできない路線バスとして生活圏交通の役割を担う。	・令和4(2022)年度の運行収支は赤字となっているものの、豊浦町内の生活移動を支援する重要な系統であり、生活圏交通としての役割の確保に向けては、令和6(2024)年度に策定を予定する(仮称)豊浦町地域公共交通計画の中で、方針を整理する。	・豊浦町



### 6-3 | 公共交通の維持・確保の方針まとめ

路線名	維持・確保の方針
<p>■JR 北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳線</li> <li>・室蘭本線</li> <li>・日高本線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域交通や生活圏交通が鉄道との接続性を確保することに加え、関係する市町等と交通事業者の協力を基に、鉄道の利便性向上及び利用促進に取り組む。</li> </ul>
<p>■道南バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速白鳥号</li> <li>・高速おんせん号</li> <li>・高速ペガサス号</li> <li>・高速登別温泉エアポート号</li> <li>・登別温泉・白老線</li> </ul> <p>■北海道中央バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速むろらん号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域交通や生活圏交通が都市間バスとの接続性を確保することに加え、関係する市町等と交通事業者の協力を基に、都市間バスの利便性向上及び利用促進に取り組む。</li> </ul>
<p>■道南バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭・洞爺湖線①</li> <li>・室蘭・伊達線</li> <li>・登別・苫小牧線</li> <li>・日高沿岸線①</li> </ul> <p>■あつまバス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と交通事業者の協力の基、利用促進に取り組み、移動手段の維持に努める。</li> </ul>
<p>■道南バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有珠線①</li> <li>・洞爺湖温泉線</li> </ul> <p>■あつまバス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苫小牧線①</li> <li>・苫小牧線③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と交通事業者の協力の基、利用促進に取り組みつつ、関係市町が中心となり、交通事業者との協議を重ね、利用実態・ニーズに応じた見直しなど持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</li> </ul>
<p>■道南バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊浦線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助）を活用し、かつ関係する市町等と交通事業者の協力の基、利用促進に取り組みつつ、関係市町が中心となり、交通事業者との協議を重ね、路線形態も含め持続可能な移動手段の確保のための最適化について検討を行う。</li> </ul>
<p>■道南バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村単独補助路線 32 系統</li> </ul> <p>■あつまバス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村単独補助路線 2 系統</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係する市町と交通事業者が協力の上、利用促進に取り組みながら、持続可能な移動手段の確保のための最適化に向けた検討を行う。</li> <li>・なお、系統の維持・確保に向けては、必要に応じて、北海道の生活交通路線維持対策事業（広域生活交通路線等）や地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域内フィーダー系統補助）の活用も検討する。</li> </ul>

路線名	維持・確保の方針
<b>■道南バス</b> ・日新国道線2 ・勇払線1 ・沼ノ端線2 ・川治ときわ線 ・錦岡線 ・勇払線2 ・澄川錦岡線 ・宮の森線	・苫小牧市と交通事業者が協力の上、利用促進に取り組みながら、持続可能な移動手段の確保のための最適化に向けた検討を行う。
<b>■豊浦町</b> ・市町村生活バス路線1系統	・令和6（2024）年度に策定を予定する（仮称）豊浦町地域公共交通計画の中で、方針を整理する。



※ 広域交通-地域間幹線系統に係る記載を整理

図 6-3 北海道胆振地域における広域交通・生活圏交通（路線バス-地域間幹線系統）の運行概略図